関西大学経済人クラブ 会 長 栗 原 照次郎 代表幹事 本 間 敏 司

第211回例会開催のご案内

拝 啓 酷暑の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当クラブに対し、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

早速ながら、平成28年度2回目となる第211回例会を下記の通り開催いたします。

今回は、校友で阪南大学国際観光学部教授の来村多加史先生に、「大阪の魅力再発見-大阪観 光の核となる上町台地の史跡と風景」と題してご講演いただくことになりました。

来村先生は、別掲の略歴のとおり、関西大学文学部入学後、昭和 63 年大学院博士課程後期課程修了まで、考古学の網干善教先生の指導を受けられました。

今回は、「大阪の脊梁となる上町台地は、難波宮跡・四天王寺・生國魂神社・大坂城などをは じめ、数々の史跡や寺社で覆われています。台地の西辺を走る断層崖は森で包まれ、ビルが林立 する大阪の街に貴重な緑地帯の風景を提供しています。崖をはい上る坂は魅力的な風景を作り、 『天王寺七坂』と呼ばれて親しまれています。実際に七坂巡りの観光客は年々増えているようで す。天王寺区と中央区の文化財や観光資源に対する調査・研究の成果をご紹介しながら、大阪観 光に文化的な香りを添える上町台地の魅力を語ります」と講演要旨を述べておられます。

いま、外国人観光客が闊歩する大阪ですが、私たちが本当の大阪の魅力を再発見すると共に、国内の良質の観光客を呼び込むための示唆に富んだお話しをお伺いできるものと思います。

時節柄、ご繁多のこととは存じますが、お繰り合わせの上ご出席下さいますよう、ご案内旁方 お願い申しあげます。 敬 具

記

日 時 平成28年9月12日(月) 午後6時

場 所 大阪・梅田 大阪新阪急ホテル 2 階「花の間」(☎:06-6372-5101)

テーマ 「大阪の魅力再発見-大阪観光の核となる上町台地の史跡と風景」

講師師阪南大学国際観光学部教授来村多加史先生

当日会費 10,000円 (規定により満80歳以上の優待会員は半額です)

* 平成 28 年度年会費(20,000円)未納の方には振込用紙を同封しております。早めにお振込みくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1958年(昭和33年)1月 兵庫県明石市生まれ。

1982年(昭和57年)関西大学文学部史学地理学科卒業。大学院に進み、1988年(昭和63年)博士課程後期課程修了。大学院在学中、1985年から88年にいたるまで文部省と中国政府との交換留学生として北京大学考古系に留学。博士(文学・関西大学)

関西大学非常勤講師、奈良文化女子短期大学教授を経て、2009年(平成21年)から阪南大学国際 観光学部教授。

研究テーマ 日中文化交流史 考古学。

著書 『万里の長城 攻防三千年史』(講談社現代新書、2003年)、『高松塚とキトラ 古墳壁画の 謎』(講談社、2008年)、『中国名将列伝』(学研新書、2008年)、『奈良時代一周 まほろばを歩 く』(NHK出版、2010年) ほか多数。

次回特別例会ご案内

次回(第212回)例会は、平成28年度の特別例会としては、本クラブの永尾俊一副会長(白ハトグループ代表取締役)が代表取締役社長を務める「なめがたファーマーズヴィレッジ」の見学会として、10月29日(土)に実施します。

集 合 東京駅・丸の内出口 午前9時40分 (貸切バスにて移動) 午後6時東京駅帰着予定。 会 費 8,000円(入場料、昼食、バス代)

現地集合は5,000円(子供3,000円)

「なめがたファーマーズヴィレッジ」は、茨城県行方市の山間の小高い丘にある小学校の跡地に、「日本の農業をステキにしよう!」を合言葉に、行方市、JAなめがた、白ハトグループが手を取り合い、やきいもミュージアム、さつまいも工場、農業体験、手づくり体験教室、レストラン、カフェなどを一堂に結集して、27年10月30日にオープンした体験型農業テーマパークです。正式な案内状と申込用紙は、9月初旬にお送りしますが、あらかじめご予定くださいますよう、よろしくお願いいたします。